

交通安全に努めましょう

茨城県安全運転競技大会、年末の交通安全キャンペーン

牛久市では安全運転や交通事故防止のための取り組みを積極的に行っています。

11月3日、茨城県警察運転免許センターで茨城県安全運転管理協会主催による第29回茨城県安全運転競技大会が開催されました。牛久地区からは、稲敷広域消防本部牛久消防署の鳥井章平さん、大越一輝さん、牛久市役所の佐竹ゆかりさんの3人が出場し、団体の部で3位入賞しました。



参加者は運転手や歩行者に啓発品を配布しながら、子どもと高齢者の交通事故防止や飲酒運転の根絶を呼びかけました。

受章おめでとうございます

叙 勲

「秋の叙勲」と警察官や消防士などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では13人の方が受章されました。おめでとうございます。

※掲載の許可をいただいた方のみお名前などを掲載しています。(敬称略)

●平成30年 秋の叙勲

瑞宝双光章

伊藤 美作 (元参議院参事)

箱守 晴人 (元参議院参事)

●第31回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

野崎 正人 (元警視正)

岩本 教雄

瑞宝単光章

植杉 尚泰 (元警視庁警部)

清水 澄 (元警視庁警部補)

中長 邦明 (元警視庁警部)

秋松 勇 (元東京消防庁消防司令)

玄間 茂 (元東京消防庁消防司令長)

税制改正に関する提言書を提出

竜ヶ崎法人会

(一社)竜ヶ崎法人会牛久地区会(海老原会長)から根本市長に「平成31年度税制改正等に関する提言」が、11月19日に手渡されました。

提言書では経済の再生と財政健全化を目指した歳出入の一体化改革や持続可能な社会保障制度の確立、中小企業の重要性を認識した活性化を図る税制措置などが提言されました。



茨城県表彰

県勢発展に功績があった方などを表彰する「平成30年度茨城県表彰」において、牛久市では3人の方が受賞されました。おめでとうございます。

(敬称略)

久野 哲彌 (茨城県警察指定検案医)

幸田 幸直

(元茨城県病院薬剤師会会長、

元(一社)日本病院薬剤師会理事)

沼尻 政雄

(牛久市交通安全推進員連絡協議会会長)

朝ごはんは野菜のおかずを30日間食べよう

第7回健康寿命をのばそう! アワード 優良賞受賞

厚生労働省、スポーツ庁が実施している「第7回健康寿命をのばそう! アワード」生活習慣病予防分野において、牛久市が厚生労働省健康局長自治体部門「優良賞」を受賞しました。内容は「生涯かっぱつ! 小学生チャレンジ! 朝ごはんは野菜のおかずを30日間食べよう」と題し、平成29年度の夏休みに岡田小学校の協力を得て、全児童562人を対象に実施しました。達成者は168人、朝食に野菜を食べる児童や野菜が好きな児童が増加、夏休み以降の給食の残菜の減少といった効果が得られました。今回の受賞を励みとし、継続して取り組んでいきます。



歳末助け合い托鉢

牛久市佛教会が托鉢行脚

12月6日、今年で33回目の牛久市佛教会による托鉢行脚が市内で行われました。今年は雨に見舞われながらも、国道6号や牛久駅などで募金を呼び掛け、まちの皆さんにご協力をいただいたのち、最後に市役所で、来庁者や職員に協力をいただきました。

募金は238,233円にのぼり、牛久市社会福祉協議会に全額寄付していただきました。根本市長は「毎年本当にありがとうございます」と年末の温かい善意に感謝を述べました。この募金は、援護対象世帯への見舞金として使われます。



この冬は南極で仕事に励みます

第60次日本南極地域観測隊員 表敬訪問

第60次日本南極地域観測隊員の越冬隊として参加する松嶋望さんが、11月16日に根本市長を表敬訪問しました。これまで、松嶋さんは第59次夏隊として観測隊に参加。「初めての越冬隊。不安もありますが、仕事に従事することはもちろんのこと、南極の壮大な大自然を楽しみたい」と意気込みを語りました。松嶋さんは11月25日に日本を出発し、12月20日ごろに南極の昭和基地に到着。現地では建設中の電気設備の完成や太陽光パネルの更新作業や基地内の電気設備保守に従事され、2020年3月に帰国予定です。



第26分団の消防車が新しくなりました

牛久市消防団第26分団(小坂) 消防車納車式

このほど、牛久市消防団第26分団(小坂)の消防車が新しくなり、運用を前に、市役所で納車式を行いました。式では、根本市長、山岡消防団長はじめ、小坂・向原行政区関係者が臨席し、第26分団に新車が引き渡されました。

これまでの消防車は、平成7年に配備されて以来、火災発生等の多くの災害に出動し、現場で威力を発揮してきました。引き続き、地域の皆さんとともに防火・防災の促進に活躍が期待されます。



本を大切にする活動へ表彰

図書修理の会 第51回優良読書グループ表彰

11月4日、いばらき読書フェスティバル2018において「図書修理の会」が公益社団法人読書推進運動協会の第51回優良読書グループ表彰を受けました。

「図書修理の会」は平成2年から本の修理を開始し、現在12人で活動しています。主な活動内容は中央図書館や小中学校の図書室の本の修理です。

代表の三村佳子^{よしこ}さんは「本を大切にしたいという思いで活動してきました。たいへんうれしく思います」と話しました。



砲丸投げで全国優勝

第18回全国障害者スポーツ大会 福井しあわせ元気大会

10月に福井県で開催された「第18回全国障害者スポーツ大会 福井しあわせ元気大会」に茨城県代表として砲丸投げに出場し、全国1位の成績を収めた小関雄太さん(31歳)が12月6日に根本市長を表敬訪問しました。小関さんは「陸上競技は25歳がピークと言われているが、30歳を過ぎても努力すれば結果を残せる。支えてくれた人たちに感謝したい」と話しました。今後は来年、茨城県で開催される「いきいき茨城ゆめ大会2019」の出場を目指すとのこと。根本市長は「今後も応援します。体に気を付けてトレーニングに励んでください」と激励しました。



感謝の気持ちをプレゼント

牛久幼稚園の園児が交通安全教化員に感謝

交通安全教化員は、交通安全教室などを開き、交通安全や防犯について子どもたちに教える活動を行っています。その交通安全教化員に感謝の気持ちを伝えるため、11月20日、牛久幼稚園の子どもたちが市役所を訪れました。子どもたちは「いつも見守ってくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝え、お礼に手作りの作品をプレゼントしました。子どもたちの優しい思いが交通安全教化員のこれからの活動の励みになったようです。



写真でみる牛久の歩み

牛久大仏完成までの写真集を寄贈

うしく写真クラブ^{あらうみよしこ}「みち」の荒海美子さん、牛久きちいさん、大谷淑子^{おおたにとしこ}さんが11月15日、市役所を訪れ、同3名から12年前に発行した写真集の寄贈を受けました。写真集は「牛久大仏^{こつぜん} 忽然^{かお}の貌」と題し、牛久大仏が完成する1765日を記録したもので、当時を知る貴重な資料です。大谷さんは「当時を知らない若い人にぜひ見てもらいたい」と話しました。

写真集は中央図書館にも所蔵していますので、牛久の歩みを感じてみてください。



(写真左から)大谷淑子さん、根本市長、荒海美子さん、牛久きちいさん

個性あふれる芸術を堪能

第24回うしく現代美術展

うしく現代美術展は、地元の作家を中心に市民・行政が連携して開催する地域に根ざした美術展です。今年は11月18日から12月2日まで中央生涯学習センターで開催。62人の作家が、平面・立体・クラフトの各ジャンルで、「魂ゆさぶる出会い」をテーマに作品を展示発表しました。また会期中には、児童が作家と交流しながら展覧会を巡る小中学校鑑賞会や、不要となったボールに絵や文字を描いてアート作品に再生させるワークショップ「リボン・アートボール」も開催され、多くの人がアートに触れる機会となりました。



1



2

1 ワークショップの作品 2 小中学校鑑賞会で出品作家と小学生が交流

牛久の花「菊」 新品種の名称決定

「第9回うしく菊まつり」新品種の菊

11月1日から10日まで開催された「第9回うしく菊まつり」の会場で、園芸家の上村遙さんによる新品種の菊が3種類発表され、名称を募集しました。応募総数は150通にのぼり、その中から以下の名称に決定しました。

※命名者は合計5人。掲載許可をいただいた方のみ掲載しています。



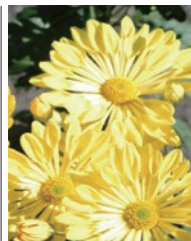
牛久の笑顔

命名者
なかやまやすよ
中山安代さん
(牛久市)



牛久の朝

命名者
なかやまひでお
中山英穂さん
(牛久市)
おにさわたけひさ
鬼沢武久さん
(牛久市)



ゴールドスプーン

命名者
まついゆか
松井友香さん
(牛久市)

地元生産者さんに感謝 牛久のおいしい給食

学校給食「和食の日」

11月22日、「和食の日」給食が各市立小中学校、市立幼稚園・保育園、社協保育園で行われました。この日は11月9日にJA竜ヶ崎大根生産部会と同そさい部会から「子どもたちのために」と寄贈された「うしく河童大根」と地元産の「白菜」を利用した献立が提供されました。

和食の日当日の牛久第二中学校では、奥野小学校の6年生の体験授業も行われ、牛久二中の生徒と奥野小の児童が生産者を囲み一緒に給食を楽しみました。献立はご飯、牛乳、鶏肉の味噌焼き、ヤーコンの金平、すまし汁。生徒からは「牛久産のものは意識しています。牛久に住んでいるので、牛久のものを食べたい」とコメントが出るなど、牛久産の食材への意識の高さがうかがえました。

給食後は、生徒会のメンバーによる「学校行事と部活についてのプレゼンテーション」が行われるなど、生徒・児童の交流が続きました。



1



2



3



4

1 「うしく河童大根・白菜」贈呈式 2・3 「和食の日」給食
4 牛久第二中学校生徒会によるプレゼンテーション

牛久を楽しむ冬の夜

第13回ブリアントヴィルうしく、大人の牛久バー、緑ヶ丘区民会館

12月1日、牛久駅周辺を彩る「第13回ブリアントヴィルうしく」の点灯式がJR牛久駅東口やっぺやっぺ広場で行われました。今年のテーマは「里山と水の輝き」。牛久の豊かな里山や清らかな水の流れを表現しています。イルミネーションは、2月17日まで点灯します。

点灯式同日、エスカード牛久を利用し「大人の牛久バー」がオープンしました。このバーは牛久市商工会青年部が、ワインとピザを楽しむイベントとして、6日間限定で開催しました。ピザはピザの横綱と呼ばれる「シカゴピザ」で、牛久産の食材を使用し、サイドメニューは全て牛久市内の飲食店が提供する、牛久の魅力が詰まったイベントとなりました。

また、緑ヶ丘区民会館(緑ヶ丘行政区・齋田文彦区長)は、今年で6回目となるイルミネーションで彩られています。このイルミネーションは、区民の皆さんから募った電飾を利用し、ボランティアの方たちがレイアウトを試行錯誤して作り上げるなど、地域住民みんなで支えてきました。担当している柏戸房夫さんかしわどふさおと藤掛敏夫さんふじかけとしお両名は「自分も楽しいけれど、みんなが喜んでくれるのが何よりうれしい」と話しました。点灯は1月末までの毎日午後5時から9時まで行われます。今回で大規模に行うイルミネーションは終了します。ぜひ、緑ヶ丘区民会館に足を運んでみてください。



1 第13回ブリアントヴィルうしく
2 大人の牛久バー
3 緑ヶ丘区民会館のイルミネーション

しあわせをよぶ
レシピ

毎月19日は食育の日 楽しくおいしい食生活をめざしましょう。

れんこんのみそマヨ焼き

おせち料理に大活躍のれんこんには「将来の見通しが良くなるように」という願いが込められています。素材の味が淡白なので、洋風のお料理にもよく合います。



材料 (4人分)

れんこん…………… 300g しめじ…………… 50g
豚肩ロース(薄切り)… 150g ★マヨネーズ…………… 100g
サラダ油…………… 大1 ★みそ…………… 小1
万能ねぎ…………… 5〜6本 ★練りからし…………… 小1〜2

1人分352kcal 塩分0.9g

作り方

- ①れんこんは皮をむき、2〜3mm厚さの半月切りに。すぐに水にさらしてアクを抜く。
- ②豚肉は2〜3cm幅に切る。
- ③万能ねぎは小口切り、しめじは石づきを取りほぐす。
- ④フライパンに油を入れ、水をよく切ったれんこんを中火で炒めて取り出す。続けて、そのフライパンで豚肉、しめじを炒める。
- ⑤★の調味料を良く混ぜ合わせ、その中に炒めたれんこん、豚肉、しめじを入れてまぜる。
- ⑥耐熱容器に⑤を入れて、200℃に予熱したオーブンで15分、表面に焼き色が付くまで焼き、万能ねぎを散らして出来上がり。※オーブントースターでも作れます。

一口メモ

れんこんには免疫力アップや老化防止効果が期待できるビタミンC、腸内環境を整え、生活習慣病を予防する食物繊維が豊富に含まれています。

このレシピは「食と健康の応援団」ヘルスメイト(食生活改善推進員)が作成しました。

問 健康づくり推進課
(市保健センター内)
☎内線1744

FMうしくうれしく放送(周波数85.4MHz)で、平日正午から「USHIKU野菜オーケストラ」レシピを放送しています!